

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価														二次評価																
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由																
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度														
1	母子保健推進事業	健康福祉局保健予防課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】「かごしますこやか子ども元気プラン」推進にあたり、講演会の開催等により、妊娠、出産、小児保健に関する正しい知識の普及を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・講演会 :かごしますこやか子ども元気プラン推進大会 ・広報活動 :マタニティマークの普及 ・思春期保健推進 :啓発のための講師派遣及び備品整備 ・アンケート調査 :元気プラン18年度達成状況調査	市単	[概算コスト] 3,755 (内訳) ・決算額 1,025 ・人件費 2,730 (人)	[概算コスト] 3,520 (内訳) ・決算額 718 ・人件費 2,802 (0.64人)	[概算コスト] 3,456 (内訳) ・予算額 909 ・人件費 2,547 (0.60人)	講演会開催回数 (単位:回)	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	[実績値] 1	[実績値] 1	[実績値] 1	講演会参加者数 (単位:人)	[目標値] 400	[目標値] 250	[実績値] 477	[実績値] 150	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 119.3%	<達成率> 60.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 17年度の参加者数が少ないことから、参加者数が増加するよう改善を行うべきである。	
2	食生活改善推進事業	健康福祉局保健予防課	○事業開始年度 昭和35年度 【概要】食生活改善推進員の養成(健康づくり栄養教室・養成講座)、食生活改善推進員連絡協議会の育成(研修会)、食生活改善推進員の活動支援を行い、市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・健康づくり栄養教室(4保健センター)、食生活改善推進員養成講座、食生活改善推進員研修会、食生活改善推進員連絡協議会役員会での指導助言、その他活動支援	市単	[概算コスト] 13,276 (内訳) ・決算額 2,550 ・人件費 10,726 (2.50人)	[概算コスト] 14,579 (内訳) ・決算額 3,489 ・人件費 11,090 (2.60人)	[概算コスト] 15,144 (内訳) ・予算額 3,726 ・人件費 11,418 (2.69人)	[概算コスト] 13,885 (内訳) ・予算額 3,613 ・人件費 10,272 (2.42人)	食生活改善推進員養成講座の開催回数 (単位:回)	[目標値] 15	[目標値] 15	[目標値] 15	[目標値] 15	[実績値] 15	[実績値] 15	[実績値] 15	食生活改善推進員養成講座修了者数 (単位:人)	[目標値] 40	[目標値] 40	[実績値] 27	[実績値] 32	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 67.5%	<達成率> 80.0%	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 食生活改善推進員養成講座修了者数が少ないので、同講座の参加者が増加するよう改善を行うべきである。	
3	結核感染症予防事業	健康福祉局保健予防課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】結核感染症講演会等の開催、結核及び感染症に対する市民への広報啓発により、結核の早期発見・早期治療を図る。 【対象者】結核医療に携わる医療従事者及び施設・学校関係者 【具体的な活動内容】 ・結核感染症講演会の開催(年1回) 公用車のマグネットパネル掲示による広報(9月中旬)	市単	[概算コスト] 2,837 (内訳) ・決算額 520 ・人件費 2,317 (0.54人)	[概算コスト] 2,901 (内訳) ・決算額 470 ・人件費 2,431 (0.57人)	[概算コスト] 2,976 (内訳) ・予算額 514 ・人件費 2,462 (0.58人)	[概算コスト] 2,039 (内訳) ・予算額 426 ・人件費 1,613 (0.38人)	結核感染症講演会開催回数 (単位:回)	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	[実績値] 1	[実績値] 1	[実績値] 1	参加者数 (単位:人)	[目標値] 140	[目標値] 140	[実績値] 123	[実績値] 130	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 87.9%	<達成率> 92.9%	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 参加者数が少ないことから、参加者数が増加するよう改善を行うべきである。	
4	東桜島地区高齢者健康診査事業	健康福祉局保健予防課	○事業開始年度 平成4年度 【概要】本市で最も高齢化、過疎化が進んだ東桜島地区の高齢者の健康診査、健康教育、健康相談等を実施することにより、同地区の高齢者の健康管理、生活習慣改善を図る。 【対象者】東桜島地区における65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・内科、血圧測定及び血液検査 ・健康指導、健康相談、訪問指導	市単	[概算コスト] 2,646 (内訳) ・決算額 1,016 ・人件費 1,630 (0.38人)	[概算コスト] 2,681 (内訳) ・決算額 1,060 ・人件費 1,621 (0.38人)	[概算コスト] 2,491 (内訳) ・予算額 878 ・人件費 1,613 (0.38人)	[概算コスト] 2,494 (内訳) ・予算額 966 ・人件費 1,528 (0.34人)	健康診査実施回数 (単位:回)	[目標値] 18	[目標値] 14	[目標値] 14	[目標値] 14	[実績値] 18	[実績値] 14	[実績値] 14	健康診査受診者数 (単位:人)	[目標値] 220	[目標値] 200	[実績値] 219	[実績値] 158	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 99.6%	<達成率> 83.2%	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 桜島保健福祉課の機能の活用も含めた見直しを検討する必要がある。	
5	女性問題に関する情報収集・提供事業	企画部男女共同参画推進課	○事業開始年度 平成7年度 【概要】男女共同参画情報誌「すてっぷ」を作成し、金融機関や病院等に閲覧用として配布し男女共同参画の理念の浸透を図るほか、男女共同参画に関する資料の収集を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・年2回(10月、3月)、発行部数(各5000部)、形態A4版全16頁	市単	[概算コスト] 5,228 (内訳) ・決算額 4,584 ・人件費 644 (0.15人)	[概算コスト] 5,233 (内訳) ・決算額 4,593 ・人件費 640 (0.15人)	[概算コスト] 5,067 (内訳) ・予算額 4,430 ・人件費 637 (0.15人)	[概算コスト] 4,975 (内訳) ・予算額 3,956 ・人件費 1,019 (0.24人)	情報誌「すてっぷ」発行部数 (単位:部)	[目標値] 11,000	[目標値] 11,000	[目標値] 10,000	[目標値] 10,000	[実績値] 11,000	[実績値] 11,000	[実績値] 10,000	社会における男女共同参画の理念の浸透	[目標値] 11,000	[目標値] 11,000	[実績値] 11,000	[実績値] 10,000	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 発刊から12年を経過していることから、内容や配布先などを見直し、より魅力ある広報啓発ができるようにすべきである。また、コスト削減を図るため、紙質などを見直し、経費削減(情報誌への広告掲載の検討含む)に努めるべきである。
6	男女共同参画フェスティバル事業	企画部男女共同参画推進課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】男女共同参画社会の実現に向けて、市民と共に考え行動する参加型イベントを実施することにより、広く男女共同参画の意識を醸成するとともに市民の情報発信や交流を支援する。 【対象者】市内に在住・在勤・在学する人 【具体的な活動内容】 ・男女共同参画に関する基調講演、分科会、自主事業の開催や女性問題の視点を入れた映画の上映、市民参加のワークショップの開催など。開催期間は、1～2月における10日間程度。	市単	[概算コスト] 4,319 (内訳) ・決算額 3,289 ・人件費 1,030 (0.24人)	[概算コスト] 3,925 (内訳) ・決算額 2,901 ・人件費 1,024 (0.24人)	[概算コスト] 5,603 (内訳) ・予算額 4,584 ・人件費 1,019 (0.24人)	[概算コスト] 4,975 (内訳) ・予算額 3,956 ・人件費 1,019 (0.24人)	自主事業の実施回数 (単位:事業)	[目標値] 7	[目標値] 7	[目標値] 7	[目標値] 7	[実績値] 7	[実績値] 7	[実績値] 7	参加者数 (単位:人)	[目標値] 2,080	[目標値] 1,650	[実績値] 1,039	[実績値] 747	<達成率> 100%	<達成率> 100%	<達成率> 50.0%	<達成率> 45.3%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 基調講演の内容によっては、参加者数が少ないことから、さらに内容を工夫するとともに、実行委員会方式を導入するなど、運営のあり方を見直すべきである。また、イベントにおける各種媒体への広告掲載も検討すべきである。
7	「かごしまITビジネスフェア」開催事業	経済局企業振興課	○事業開始年度 平成14年度 【概要】ソフトプラザかごしまにおいて、入居企業等が開発した情報化促進等のシステム展示会や中小企業の情報化相談会などを行う(隔年実施)ことにより、入居企業等のビジネスチャンスの拡大や市内中小企業の情報化の促進を図る。 【対象者】ソフトプラザ入居者・市内中小企業 【具体的な活動内容】 ・イベントの内容:製品展示コーナー及び情報化相談コーナーの設置、講演会の開催など ・場所:ソフトプラザかごしま ・開催回数:2年に1回(11月頃)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 519 ・人件費 427 (人)	[概算コスト] 946 (内訳) ・決算額 519 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 1,082 (内訳) ・予算額 658 ・人件費 424 (0.10人)	製品展示コーナーへの出展企業数 (単位:社)	[目標値] 10	[目標値] 10	[目標値] 13	[目標値] 13	[実績値] 6	[実績値] 6	[実績値] 6	講演会・ITフェアの来場者数 (単位:人)	[目標値] 200	[目標値] 250	[実績値] 178	[実績値] 250	<達成率> 60.0%	<達成率> 60.0%	<達成率> 89.0%	<達成率> 89.0%	△	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	△	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 活動指標、成果指標ともに目標に達していないことから、商談の機会を設けるなど出展者・来場者に魅力あるものとするとともに、将来的には施設入所者の自立した活動となるよう、事業手法の見直しを検討すべきである。		

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価						
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由								
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度						
8	中小企業情報化促進事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】ソフトプラザかごしまの情報提供コーナーの運営、情報化セミナーの開催等により、市内中小企業の情報化促進を図る。また、ソフトプラザかごしま入居企業をはじめ、市内の情報関連企業に対しソフト面からの支援策を行うことにより、今後の成長性の高い情報関連産業の育成を図る。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・活動内容:産業図書等の貸出し、セミナーの開催 ・セミナー回数:年8回程度 ・場所:ソフトプラザかごしま	市単	[概算コスト] 2,857 (内訳) ・決算額 1,570 ・人件費 1,287 (0.30人)	[概算コスト] 2,635 (内訳) ・決算額 1,355 ・人件費 1,280 (0.30人)	[概算コスト] 2,659 (内訳) ・決算額 1,386 ・人件費 1,273 (0.30人)	[概算コスト] 2,781 (内訳) ・予算額 1,508 ・人件費 1,273 (0.30人)	ソフトプラザかごしま情報提供コーナーの利用者数 (単位:人)	[目標値] 4,000 [実績値] 5,934 <達成率> 148.4%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,902 <達成率> 97.6%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,116 <達成率> 77.9%	[目標値] 4,000 [実績値] 4,000 <達成率> 100%	市内中小企業のコンピュータ機器の導入率 (単位:%)	[目標値] 99.0 [実績値] 98.70 <達成率> 99.7%	[目標値] 100 [実績値] 99.60 <達成率> 99.6%	[目標値] 100 [実績値] 99.60 <達成率> 99.6%	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 情報コーナー利用者が減少傾向にあることや、中小企業のコンピュター導入率がほぼ100%に近づいていることから、効果的な事業となるよう手段を見直すべきである。
9	「観光と特産品の情報ステーション」運営事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】観光物産に関する情報を発信し、本市の観光資源や特産品についての理解を深めてもらうため、本市、鹿児島商工会議所及び鹿児島観光コンベンション協会が共同で「観光と特産品の情報ステーション」を運営する。 【対象者】観光客・市民 【具体的な活動内容】 ・観光物産情報の提供 ・特産品の展示(約160点) ・特産品等に関するイベント開催(1周年記念イベント、特産品まつり) ・パンフレットの作成、配布	市単	[概算コスト] 6,977 (内訳) ・決算額 5,058 ・人件費 1,919 (人)	[概算コスト] 6,977 (内訳) ・決算額 5,058 ・人件費 1,919 (0.45人)	[概算コスト] 5,322 (内訳) ・決算額 3,624 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 5,322 (内訳) ・予算額 3,624 ・人件費 1,698 (0.40人)	提供情報数 (単位:件)	[目標値] 240 [実績値] 242 <達成率> 100.8%	[目標値] 300 [実績値] 295 <達成率> 98.3%	[目標値] 300 [実績値] 295 <達成率> 98.3%	[目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100%	来客者数 (単位:人)	[目標値] 27,000 [実績値] 29,715 <達成率> 110.1%	[目標値] 36,000 [実績値] 34,410 <達成率> 95.6%	[目標値] 36,000 [実績値] 34,410 <達成率> 95.6%	○	○	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	-	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 天文館地区における情報提供の場として必要な施設であるが、インターネット等を活用した運営(特産品の仲介・斡旋・情報提供)についても検討する必要がある。	
10	青果市場業者強化育成事業	経済局 青果市場	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】せり人及び仲卸業者・売買参加者の強化育成を目的に、せり人の資質向上を図るための講習会、仲卸業者・売買参加者の経営改善研修会を開催する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・せり人の資質向上を図るための講習会 1回 青果市場内等 ・仲卸業者、売買参加者の経営改善講習会 1回 青果市場内等	市単	[概算コスト] 714 (内訳) ・決算額 70 ・人件費 644 (0.15人)	[概算コスト] 850 (内訳) ・決算額 210 ・人件費 640 (0.15人)	[概算コスト] 734 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 637 (0.15人)	[概算コスト] 727 (内訳) ・予算額 90 ・人件費 637 (0.15人)	講習会等開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	講習会等への参加人数 (単位:人)	[目標値] 295 [実績値] 129 <達成率> 43.7%	[目標値] 295 [実績値] 99 <達成率> 33.6%	[目標値] 290 [実績値] 86 <達成率> 29.7%	[目標値] 280 [実績値] 86 <達成率> 30.7%	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 講習会等への参加者数が減少傾向にあることから、参加者のニーズを把握するなど、より効果的な事業となるよう手段を改善するべきである。
11	魚類市場業者強化育成事業	経済局 魚類市場	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】せり人及び仲卸業者・売買参加者の強化育成を目的に、せり人の資質向上を図るための講習会、仲卸業者・売買参加者の経営改善研修会を開催する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・せり人の資質向上を図るための講習会 1回 魚類市場内 ・仲卸業者、売買参加者の研修会 1回 魚類市場内	市単	[概算コスト] 741 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 644 (0.15人)	[概算コスト] 737 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 640 (0.15人)	[概算コスト] 734 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 637 (0.15人)	[概算コスト] 734 (内訳) ・予算額 97 ・人件費 637 (0.15人)	講習会等開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	講習会等への参加人数 (単位:人)	[目標値] 210 [実績値] 61 <達成率> 29.0%	[目標値] 210 [実績値] 100 <達成率> 47.6%	[目標値] 210 [実績値] 70 <達成率> 33.3%	[目標値] 210 [実績値] 70 <達成率> 33.3%	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 講習会等への参加者数が減少傾向にあることから、参加者のニーズを把握するなど、より効果的な事業となるよう手段を改善するべきである。
12	労働関係相談及び雇用促進事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】雇用に関する諸々の相談を気軽に受けられる場を提供するとともに、雇用労働問題に関し関係団体等との情報交換を通じて相互理解と連携を深める。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・雇用相談 相談員 1名 相談時間等 9:00~15:45(月曜日から金曜日まで) ・雇用労働会議 開催回数 2回	市単	[概算コスト] 2,616 (内訳) ・決算額 2,187 ・人件費 429 (0.10人)	[概算コスト] 2,500 (内訳) ・決算額 2,116 ・人件費 384 (0.09人)	[概算コスト] 2,448 (内訳) ・決算額 2,108 ・人件費 340 (0.08人)	[概算コスト] 2,632 (内訳) ・予算額 2,335 ・人件費 297 (0.07人)	雇用相談員数 (単位:人)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	相談件数 (単位:件)	[目標値] 1,200 [実績値] 1,071 <達成率> 89.3%	[目標値] 800 [実績値] 627 <達成率> 78.4%	[目標値] 800 [実績値] 396 <達成率> 49.5%	[目標値] 800 [実績値] 396 <達成率> 49.5%	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 相談件数が減少傾向にあることから、事業手段について検討すべきである。
13	若年者就職サポート事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】若年者の雇用状況の改善を図るため、事業所訪問による雇用枠拡大の要請、キャリア形成ガイドブックの作成、卒業後就職希望の市内の高校3年生を対象にしたセミナー等を開催する。 【対象者】学生、就職していない若年者 【具体的な活動内容】 ・雇用枠拡大の要請:市内110事業所訪問、経済団体への訪問 ・キャリア形成ガイドブック:10,000部作成、市内の高校等に配付 ・ステップアップセミナー:7月中旬開催、雇用情勢の説明、講話、挨拶の仕方	市単	[概算コスト] 4,314 (内訳) ・決算額 2,096 ・人件費 2,218 (人)	[概算コスト] 4,706 (内訳) ・決算額 2,414 ・人件費 2,292 (0.52人)	[概算コスト] 4,706 (内訳) ・決算額 2,414 ・人件費 2,292 (0.54人)	[概算コスト] 5,611 (内訳) ・予算額 3,531 ・人件費 2,080 (0.49人)	高校生ステップアップセミナー開催回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	高卒者の就職決定率 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 94.70 <達成率> 94.7%	[目標値] 100 [実績値] 94.50 <達成率> 94.5%	[目標値] 100 [実績値] 94.50 <達成率> 94.5%	[目標値] 100 [実績値] 94.50 <達成率> 94.5%	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善) (理由) 就職決定率が横ばいであることから、より成果が向上するよう事業手段を改善するべきである。